

学年	2学年		教科 目標	学 習 内 容		評価規準及び評価方法	
教科	理科						
月	課	単元名	時数				
4		生命:動物のくらしや なかまと生物の変遷 1章 生物の体をつくる 細胞	12	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること および、植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。		生物には一つの細胞からなるものと多くの細胞からなるもの があるが、すべての生物が細胞でできており、細胞は生物体 の構造の単位であること及び細胞の基本的つくりについて理 解している。	
5		2章 生命を維持する はたらき 3章 感覚と運動の しくみ	12	消化や呼吸、血液の循環についての観察、実験を行い、動物の体が必要 な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果と関連付けて とらえる。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることにつ いて理解する。 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組 みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けてとらえる。		消化によって栄養分が吸収される仕組みや、食物が小腸の 壁から吸収されやすい物質に変化することを理解する。また、 肺で取り入れられた酸素が体の隅々の細胞まで運ばれ、 生活するためのエネルギーが取り出される仕組みを理解す る。動物が外界の刺激に反応しているこ と、感覚器官や神経系、運動器官のつくりと働きについて理 解している。	
6		4章 動物のなかまと 生物の進 化 エネルギー:電流の 性質とその利 用	16	脊椎動物や無脊椎動物の体のつくりなどの特徴を比較整理し、いくつか の仲間に分類できることを見いだす。また、現存の生物は過去の生物が 変化して生じたものであることを体のつくりなどと関連付けてとらえる。		脊椎動物を比較し、相違点や共通点から5つに分類できる。 無脊椎動物を節足動物、軟体動物を中心に理解する。 陸上生活する生物は、水中生活するものから進化したことに 気づく。	
7		1章 電流の性質 2章 電流の正体	12	電流回路についての実験や観察を通して電流と電圧の関係及びはたらき について理解する。また、帯電した物体では空間を隔てて力が働くこと及 び静電気と電流は関係があることを見いだす。		電気回路の電流や電圧の規則性について理解する。また、 電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあるこ と、静電気と電流には関係があることなどを、観察、実験を通 して理解することができる。	
9		3章 電流と磁界	16	磁石や電流による磁界の観察を行い、磁力線で表すことができることや、 コイルの回りに磁界ができることを知る。		磁界と磁力線の関係、コイルによる磁界など電流の磁気作用 の基本的な概念を観察、実験を通して理解する。電流と磁界 との相互作用で受ける力や、電磁誘導の現象など、電流の 利用について科学的な見方ができる。	
10		物質:化学変化と 原子・分 子 1章 物質の成り立ち	16	物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質から元の物質の成分 を推定する。また、物質は原子や分子からできていることを知る		物質を分解する実験を行い、結果を分析して解釈し、分解し た物質から元の物質を推定できる。物質は原子や分子から できていることを理解し、記号で表すことができる。	
11		2章 様々な化学変 化	12	化合、酸化、還元などの実験を行い、反応前とは異なる物質ができるこ と、化学式であらわすことができることを知る。また、化学変化には熱の出 入りが伴うことを見いだす。		化合、酸化、還元の実験を行い、結果を分析して解 釈し、反応前と反応後の物質について関連付けて考 えたり、化学変化では熱の出入りがあることを理解す ることができる。また、化学変化を、原子や分子のモ デルと関連付けて理解することができる。	
12		3章 化学変化と物質 の 質量の規 則性	12	化学変化の前後における質量を測定する実験を行い、反応する物質の質 量の間には一定の関係があることを見いだす。		化学変化に関する物質の質量を測定する実験を行い、結果 を分析して解釈し、反応の前後で物質の質量の総和は等し いことを見いだすことができる。また、物質の質量の間には一 定の関係があることの二つの規則性を理解することができる。	
1		地球:地球の大気と 天気の変 化 1章 空気中の水 の変 化	12	主な気象要素である、気温、湿度、気圧、などの測定についての観測方 法と、気象データの記録の仕方を身につける。また、雲や霧などの現象 を、気圧、気温および湿度の変化と関連して考える。		気象観測の基本的な仕方を身につける。気象要素の変化及 び相互の関連と天気の間を見いだすことができる。 霧や雲の発生を水蒸気量、大気圧の変化と関連付けて説明 することができる。	
2		2章 大気の動きと 天気の変 化	12	前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖 気、寒気と関連付けてとらえる。		天気図や観測データから高気圧、低気圧のまわりの風の吹き 方や、前線付近の暖気、寒気の動きを理解する。	
3		3章 大気の動きと 四季の変 化	8	日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえる。地球を取り巻く大気の動 きを考える。		天気図や気象衛星画像から、気圧配置と風の吹き方、天気 の特徴の関係を見いだすことができる。また、地球を取り巻く 大気の動きや、海洋の影響についても関連付けてとらえるこ とができる。	
			140	合計授業時間数			